地方創生の取り組み 12

奇をてらわず、されど埋没しない、そんなまちづくりを目指して

先月号でも触れました津別のポテンシャル、自然であり、生産品であり、技術、人材など秀でたものはたくさんあることに気づかされます。でも、広い北海道で似たようなものも、たくさんあるのも事実です。では、津別らしさをどう売り出すか。時間はかかるかもしれませんが、草の根的に広げていくしかないと考えています。良いものを求める人も、たくさんいますから。

セルフリノベーションでつくる私たちの新しい拠点

コワーキングスペース編

大規模停電の影響により、1週間遅れてスタートしました「空き家リノベーションワークショップ」ですが、10月以降もテーマを変えて引き続き開催してまいります。

リノベーションやDIYについて、専門家の指導を受けながら、一緒に体を動かし、津別町の関係人口創出・にぎわいの拠点となる場所を私たちの手で作っていきましょう。

▶セルフリノベーションワークショップの模様

道東エリアリノベーション・プロジェクト

【空き家リノベーションワークショップ】

第３回 断熱材敷込・電動工具使用ＷＳ
10月13日(土)〜14日(日)
第４回 外壁施工ＷＳ
10月27日(土)〜28日(日)
各日午前10時〜午後５時開催予定
場　所　幸町12番地(旧北津商事)
※ワークショップの内容については、作業の進捗状況により変更となる場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】
住民企画課 地方創生推進グループ
☎76−2151
e-mail:doto.area.renovation@gmail.com

空き家バンクのリニューアル

空き家相談窓口開設と相談会の実施により、津別町空き家等情報登録制度への登録者が増え、町内に住むことを考えている方などに、物件情報をより分かりやすく伝えるためのウェブサイトをリニューアルいたしました。

登録を希望される方の相談・申請も随時受け付けております。

【津別町空き家バンク】
https://www.tsubetsu-estate.com/

▼アクセスQRコード

（仮称）津別町まちづくり会社サブマネージャー着任

9月3日、まちづくり会社の立ち上げを行うため、サブマネージャーとして山本洋子(やまもとようこ)さん（40歳）が着任いたしました。

山本さんは、統括マネージャー選考時に、最終選考に残った6名のうちの一人で、松林マネージャーの推薦を受け、採用となり、この度、大阪市から移住してこられました。

まずは地域に慣れてもらうことが大事だと考えていますので、みなさんの応援とご協力を、よろしくお願いいたします。

▶サブマネージャーの山本洋子さん

気になる用語説明⑧

【関係人口】

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる次のような地域外の人材を指す言葉です。

・津別町と継続的なつながりを持つ人（津別ファン）
・津別町にルーツがある人
・過去に津別町に勤務や居住経験のある人

地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していることから「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

第27回つべつふるさとまつり

会場は手づくり露店の光であふれ、訪れた人たちは久しぶりの明るい夜を楽しんだ。

津別の秋を彩る「つべつふるさとまつり」が、9月9日、10日の二日間、津別神社前の町道周辺を会場に開催されました。

つべつふるさとまつり実行委員会の主催によるもので、町民手づくりのおまつりとして、今年で27回目を迎えます。

両日ともあいにくの雨でしたが、焼き鳥、焼きそば、おやきなどの食品や、縁日コーナーなどで会場はにぎわいました。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響による町内全域の停電で、一時は開催が危ぶまれましたが、7日中に全域で復旧。会場に訪れた人たちは、生活が日常に戻った喜びをかみしめながら、おまつりを楽しんでいました。

おもちゃ屋さんの品揃えに、子どもたちの足も思わず止まる。

おまつりでしか味わえないメニューを楽しんだ。

会場付近を練り歩く、津別神社例大祭の御輿渡御。

子どもたちによる郷土芸能・駒踊りも会場付近で披露されていた。

雨の中、ファファ遊具に列をつくって順番を待つ子どもたち。

射的など懐かしい縁日コーナーも大人気。